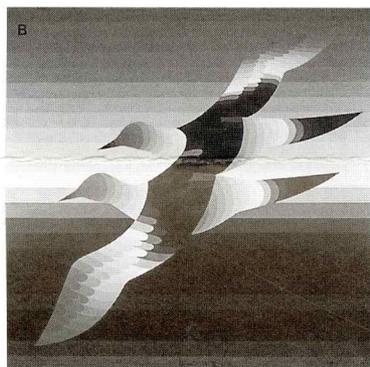
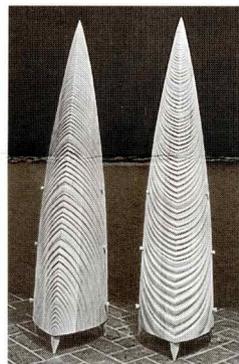


みる  
APPRECIATEか  
た  
る  
DISCUSSつ  
く  
る  
CREATEVOL.29 NO.3  
(通巻87号)2003  
ART NEWS  
千葉県立美術館

収蔵作品による企画展

あい あい あい つい  
**相・会・愛—対のかたち—** 2月1日(土)～3月23日(日)あいおう  
襲嘯 「BIRDS」

堀川 恭 「聖なる佇立」

本館収蔵の日本画、洋画、版画、彫刻、工芸作品の中から、表されたモチーフや作品の形状が「ふたつでひとつ」になった「対」の作品を紹介します。例えば「二つの重なったハート」「翼を連結した二羽の鳥」「赤ん坊と成長したこども」をモチーフにした作品、そこにはひとつのかたちでは伝ええない、対という関係性から派生するイメージの広がりや豊かさがあります。作家は対のかたちでなにを表そうとしているのでしょうか。「一つのハート」「一羽の鳥」「一人の赤ん坊」ではなく、何故対のかたちなのでしょう。また対のかたちを人と人との関係としても捉え、浅井忠をめぐる師と弟子の関係、友との交流など、浅井がどのような人間と相対し、出会い、仕事に消化していったのか、その一部を作品や研究資料等によって紹介します。本展テーマ「相・会・愛」の「相」は二つ、二人、相手、相対であり、「会」は出会い、向いあうの意であり、そこに「愛」を見い出そうとするものです。

**収蔵作品による企画展「彫刻」—素材と表現—**

4月13日(日)まで開催

彫刻には、杉、ラワン、樟(くす)などの木や、御影石、大理石などの石、ブロンズ、鉄、ステンレス、アルミニウムなどの金属、ポリエステル樹脂などさまざまな素材があります。彫刻は近年の制作技術の進歩により、それまで使用されなかった硬質な素材や大作の制作が可能になり、また素材の開発によって新しい質感を持つ彫刻も登場し、彫刻のイメージは広がってきています。作家は素材から作品のイメージを思い描いたり、反対に作品のイメージに合う素材を選んだりしながら、素材を生かした表現方法を考えています。本展では、作家の選んだ素材とその表現を紹介します。

**木の作品から「夜叉神解脱」** すぎ 伊藤礼太郎(大正14～)

材料の杉は、材木業者から貴重な木だと紹介されて入手したのですが、後に鑑定したところ、飛鳥時代か新しくても白鳳時代の前期の杉の巨木で、神社仏閣で棟木として使用されていたものようです。作者は、非常に柔らかく傷付きやすいこの木を初めて見たときに、埋もれ木だと思い、この夜叉神の姿をイメージしました。「夜叉」は、元来インド神話では森に住む山や樹木の精霊で人に害を与える邪悪な鬼神である反面、財宝の神でもありましたが、仏教に取り入れられて日本に紹介された夜叉は、悪人を食い、善人を守る守護神となっています。「解脱」は、材料の杉から生れたことを指すのか、あるいは森という場所や、守護神の役割から解放されたことを指すのか。木という材質と考えあわせると興味深い作品名です。



## 「帰る日」くす 笠原鉄明 (昭和28～)

くすを好んで制作に用いる作者は、くすの人肌に近い色合いを作品に生かしています。この作品は、割れを防ぐため、中を空洞に削り貫いた後、同じ木で塞いで、最後に絵の具で彩色しています。富山県出身の作者が帰郷する自分の姿を客観的に思い描いたというこの作品ですが、直立不動の姿勢には、仏像が好きという作者の思いも込められています。また、自己の原点を探ろうとするテーマには、師の鈴木実の影響が感じられます。女性が手にする風呂敷包みの「包む」という日本的な風習にも、中に入っている物への期待が込められています。

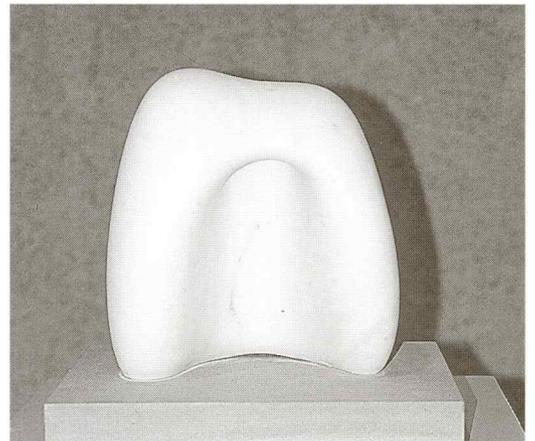
「なぜここにいるのだろうか。人それぞれに原体験があり、風景がある。どこかに頼り処を捜し求めながら生きてゆく。自分にとっての原点とはなんだろうか。北陸、谷間におおいかぶさる鉛色の空、雪、親しい人々の顔。思いは故郷に辿り着き、帰ってゆく。自分を見失ったとき、自分を見つめ直したくなるとき、自己の原点を確かめ新たな飛躍をするために。作品「帰る日」はそんな自分の思いである。」(第6回現代日本具象彫刻展図録から)



## 石の作品から「天泉 (マケット)」大理石 安田侃 (昭和20～)

「マケット」とは、作品制作の前に試作される縮小形の雛形のことで、この「天泉」のマケットをもとにして完成した作品は、手賀沼の親水広場に設置されています。

作者は、ミケランジェロも制作に用いた名高い大理石の産地である北イタリアのピエトロサンタで約30年間に亘って、創作活動を行いました。ピエトロサンタは、大理石を山から切り出す石工や職人の町です。気の遠くなるような年月をかけて形成された大理石を掘り出し、その石が望む形を引き出して造られた作者の彫刻のフォルムは優しく、自然で、周囲の環境と調和しながらも存在感があります。作者は、ヨーロッパの都市空間を舞台に、見て、触れて、座って語り合えるスケールの大きい彫刻作品を制作しています。



## 金属の作品から「構造上の森 (街かもしれない)」鉄・ステンレス 陰里寿朗 (昭和35～)

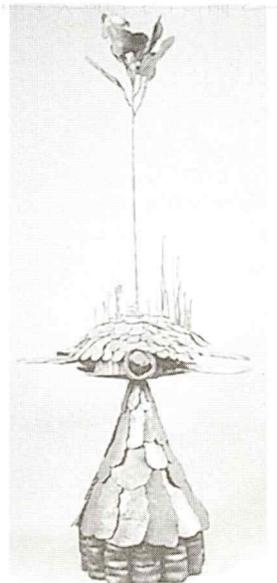
「作者は鉄のエネルギーをどう大きな形にまとめていくかを課題に、鉄を叩いて表現してきました。冷たく硬いイメージの鉄ですが、飴細工、粘土細工のようなスピード感があり、鉄に向かっていると鉄のエネルギーが伝わって自らもエネルギーギッシュになれるようだと語っています。この作品で、亀の背中は人の住んでいる世界、その下は、誰も知らないが実際に存在する世界、縦の線は時間軸、亀の背中から上は未来の世界を表します。全体として時間を俯瞰しているような感じを考えました。

(作者の言葉)

「考えの中に昔の地球の在り方(天動説の頃の宇宙観)があります。その中で地球は平らで海のはては滝になっていて、その平らな地球を象が支え、その象は亀の上に乗っている。…」

構造上の森 (街かもしれない)

おおきく おおきく 流れる中に森はある  
 おおきく おおきく 重ねた上に森はある  
 夢のうちを およぎ  
 事実のなみに あえぐ  
 心のふるえに ゆれる  
 むかし むかしに 森はある  
 そして 今も森はある(作品に寄せた作者の詩)



(学芸課 相川順子)

## 事業報告

### 特別展 英国ロマン主義絵画展

8月24日(土)～10月6日(日)  
 ヴィクトリア&アルバート美術館の  
 所蔵作品の中から、油彩、水彩、素  
 描などの約120点を展示し、18世紀  
 から20世紀末に至る英国ロマン主義  
 絵画の流れと魅力を紹介しました。

#### 【関連事業】

#### 美術講演会 9月14日(土)

《演題》思い出の風景、  
 夢にまで見た風景  
 《講師》学習院大学教授  
 高橋裕子氏

#### ミュージアムコンサート

10月5日(土)  
 弦楽五重奏による  
 英国ロマン音楽紀行  
 ～エリザベス王朝から  
 ビートルズまで～  
 《出演》ニューフィルハーモニー  
 オーケストラ千葉

#### こどものための展覧会2002

7月6日(土)～8月16日(日)  
 こども達が時間を忘れて楽しむこと  
 ができる参加型の展覧会を開催しま  
 した。

#### 触れる美術展

11月19日(火)～12月1日(日)  
 五感(特に触感)による作品鑑賞を  
 主眼にした展覧会を開催しました。

#### 第26回千葉県移動美術館

市川市文化会館とサンブラザ市原の  
 2会場で、当館所蔵作品約40点を中  
 心に展覧会を開催しました。

#### 博物館実習

8月1日(木)～6日(火)  
 8大学8名の実習生を受け入れまし  
 た。

#### スポーツと美

#### こどもアートチャレンジ

10月20日(日)  
 千葉県スポーツ科学総合センターで、

## ★平成14年度の主なイベント★

子ども達と写生会を行いました。

#### 実技講座

5・7・10・1月  
 陶芸・彫刻・版画・金工の4講座を  
 開催しました。篆刻講座は、2月に  
 開催します。



(陶芸講座より)

#### 一日学芸員体験

美術工芸品(掛け  
 軸と壺)の取り扱  
 い方などの体験学  
 習を行いました。  
 (和室にて)



#### 学校巡回展

9月11日(水)～12月2日(月)  
 長生・山武地区の6校(小学校4校、  
 中学校2校)で名画の複製画を巡回  
 展示しました。また、希望のあった  
 学校へは、美術館職員が出向き  
 「ギャラリートーク」を実施しまし  
 た。

#### 〈感想〉

この前は、素晴らしい絵の説明な  
 どいろいろなことを教えてくれてあり  
 がとうございました。おかげで、私  
 から家族にいろいろなことを教える  
 ことができました。ギャラリートー  
 クでは、シルエットクイズをしたり、  
 本物の油絵を見せてもらったりしま  
 した。絵は描くだけじゃなくて、一  
 つ一つにそのときの気持ちなどがこ  
 められていることがわかりました。  
 また、素晴らしい絵を見たいです。  
 (小学5年生女子)

#### むじゃキック・サタディ

5つのワークショップのほかにも  
 『おもしろ鑑賞会』&ミニワーク  
 ショップ2つのパターンを楽しめる  
 イベントを土曜日に開催しました。

#### ワークショップ

★何かとコラボレーション(共同団体)  
 しながらエキサイティングに開催!★

#### ♥ケンピーツリーとコラボレーション♥

6月15日・22日  
 『アトリ絵カードに願いを…』  
 美術館の絵馬カードを制作しました。

#### ♥ファッションとコラボレーション♥

8月4日  
 『新聞紙・デ・オートクチュール』  
 新聞紙によるファッションショーを  
 行いました。

#### ♥美術館野外施設とコラボレーション♥

9月29日  
 『総天然色⇄野外活劇!ウォールペ  
 イント+ロールペイント』  
 美術館壁一面に貼られたロール紙に  
 フリーペイントをしました。

#### ♥ポートパークとコラボレーション♥

11月17日  
 『千葉ポートパークがモニュメント  
 アート広場に変身!』  
 段ボールを組んだり、つないだりし  
 てモニュメントを作りました。

#### ♥アーティストとコラボレーション♥

1月25日  
 『アーティストと共演!スチロール  
 オブジェ』  
 大きな発泡スチロールでオブジェを  
 作り、作家の作品と並べて展示しま  
 した。



「にらめっこ」

**美術めぐりの旅** 11月21日(木)  
 銚子の犬吠駅舎内にある後藤純男美術館と八日市場市にある山下りんのイコン画を多く有する須賀正教会を訪ねました。(参加人数32名)



(犬吠駅舎前にて)

〈お便り〉

お骨折りにより、バスの中での説明で、途中の町や道の歴史等も知ることができ、勉強になりました。美術館での絵画鑑賞も十分堪能でき、教会のイコン画も素晴らしいものでした。よい企画ありがとうございました。来年も期待しております。ぜひ、参加したいと思います。

(船橋市 中村様より)

田んぼの中の教会の絵は素晴らしく、今も感動が残っています。いい絵を見せてもらって、楽しい旅でした。ありがとうございました。

(木更津市 佐藤様より)

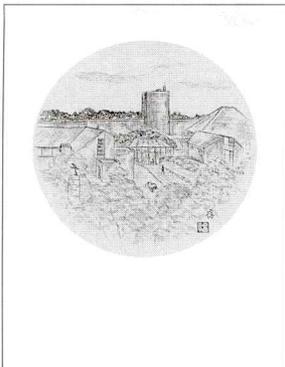
\*このほかにもたくさんの方々から、大変あたたかいお手紙をいただき、ありがとうございました。

## お知らせ

### 千葉県立美術館オリジナルポストカード2002

ミュージアムショップにて限定販売中!

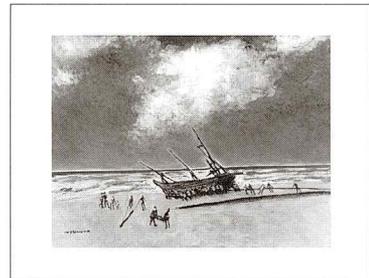
訪れてみたい我がふるさと房総『千葉県の再発見シリーズ』1枚100円



斉藤惇 望「千葉県立美術館」



篠崎輝夫「養老溪谷 溪谷橋」



積田経士「九十九里浜」

### 千葉県立美術館オリジナルレブリカ

ミュージアムショップにて限定販売中!



浅井 忠 「京都高等工芸学校の庭」 15,000円

サイズ 38.5×30.6cm 装丁 マット加工「額入り」

浅井忠(1856~1907)は、明治33(1900)年から35(1902)年にわたるフランス留学の後、新設された京都高等工芸学校の教授として京都に移住し、後進の指導にあたりました。本作品は、初夏の校内の花壇を取材したもので、薔薇を這わせたアーチや葵の花が瑞々しく描かれています。京都時代の代表的な水彩画の一点です。

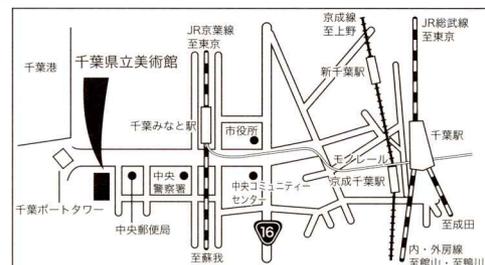
## ワークショップサポーター募集!



- 募集対象 県内の大学生を原則とします。
- 募集人数 10名程度。
- 募集期間 平成15年3月まで。定員になり次第、募集は終了とします。
- 活動内容 平成15年度開催予定のワークショップの準備や運営のサポート活動。

<美術館案内>

- JR「千葉」・京成電鉄「京成千葉」駅より「千葉ポートタワー行」バス15分「美術館・中央郵便局前」下車徒歩1分
- JR(京葉線)・千葉都市モノレール「千葉みなと」駅下車徒歩8分



〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1  
 ☎043(242)8311(代)

